森林用 IoT 囲いわな設置の勉強会に参加しました

令和３年１月２６日
広島北部森林管理署

令和 3 年 1 月 25 日、安芸高田市の津々良山国有林において、広島県林業課主催で森林用 IoT 囲いわな設置の勉強会が開催され参加しました。

勉強会は、広島県がシカによる林業被害軽減のための捕獲試験（委託事業）の一環で実施したもので、捕獲業務委託者のほか、資材業者、森林組合、技術センター等から約 20 名が参加しました。

この囲いわなは、林内立木を支柱にしてネットとシートで囲むもので、広い平坦地が不要のメリットがあります。参加者は分担し、①立木の 2.7m の高さにロープでカラビナを取り付け、次に②シカ防護ネットをカラビナに掛け、更に③ネットに結束バンドでブルーシートを付ける作業を行いました。周囲を 50m のネットで囲み、入口には IoT による遠隔操作や自動捕獲ができるシステムを設定しました。今後は毎日餌による誘引を行い、被害軽減の効果について、約１ヶ月間捕獲試験を行います。

なお、昨年この付近で誘引試験をした際、ヘイキューブのみでは寄ってこなかったが、醤油を付けたところ誘引効果が上がったという報告があったので、成果について注目したいと思います。

囲いわな内側

出来上がった囲いわな

カラビナ

カラビナの取り付け状況

広島北部森林管理署は広島県、地元地域と連携し、引き続きシカによる林業被害の軽減のため各種捕獲に取り組んでいきます。